

change is fun!

～しなやかさと向上心を持って～
笑顔がみたいから



〒294-0014千葉県館山市山本1155番地

TEL : 0470-25-5111 (代表)

WEB : www.awairyo.jp

地域医療に貢献する 病院薬剤師に



目の前の患者さまのために学んできた薬の知識を活かしたい。
学んできた知識を医師や看護師などに提案し、よりよい医療につ
なげたい。
このような思いで私たち病院薬剤師は働いています。
地域医療を支えようと職員みんなが努力しています。そのよう
な中、薬剤師として力になれることがあります。

安房地域医療センター 薬剤室
薬剤師 採用案内

安房地域を支える

急性期から在宅まで

安房地域は房総半島の南端に位置し、海に囲まれた自然豊かで温暖な土地です。この地域で安房地域医療センターは、急性期からリハビリテーションを通じて在宅までの医療を行い、そして二次救急病院・災害拠点病院の役割を果たしています。また、ISO9001（品質マネジメントの規格）や病院機能評価機構の認証を受けており、医療の質向上にも力を入れています。



調剤室



製剤室での混注業務



DMATに参加

職能を発揮しやすい環境

コミュニケーションが取りやすい

当院の良いところは、大病院ではないため、医師や看護師、他の職種との距離感が近く、明るい雰囲気の中で仕事ができることです。各々の職種とコミュニケーションが取りやすいため、提案や意見を取り入れてもらいやすく、やりがいにもつながります。この環境中、薬物治療が適切に行われるように、薬剤師として責任を持って業務にあたっています。

チーム医療への参加

薬剤師の視点で

医療の高度化・複雑化に伴い、多職種のスタッフが専門的な意見を出し合い、チームとして患者さまの医療を支援していくことがあります。当院では以下のチーム医療に薬剤師が参加しており、薬剤師の視点で貢献できるように心がけています。

- 外来化学療法
- 医療安全
- 感染管理チーム（ICT）
- 栄養サポートチーム（NST）
- 褥瘡チーム
- 災害派遣医療チーム（DMAT）

地域への貢献

薬剤師としてできること

病院内だけでなく地域に貢献できることとして、薬剤師・看護師の育成、住民への薬に関する講演、病院間・病院薬局間の連携に協力しています。

- 薬学生の実務実習受入
- 高校生の薬剤師の職場体験会
- 看護専門学校の講師（臨床薬理学）
- 住民への健康相談会の講師（awa-cafe Project）
- 地域医療連携推進法人へ参加し、病院間の採用薬を統一
- 院外薬局との会議（月1回）



病棟薬剤業務



病棟にて多職種でのミーティング

病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務

患者さまのQOL向上に貢献できるように

病院の各病棟に専任薬剤師を配置し、病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務を行っています。薬物治療を有効に安全に行うことにより、患者さまのQOL向上に貢献できるよう心がけています。

また、患者さまへの貢献だけでなく、医師や看護師等の業務負担を軽減することも薬剤師の価値です。

入院時持参薬の当院採用薬への変更の提案や、プロトコルに基づく薬物治療管理（PBPM）として定期処方の代行入力などを行っています。



安房地域医療センター 薬剤室構成
 薬剤師 8名
 調剤補助 1名
 事務 2名
 （2022年3月現在）

外来・救急・急性期医療・外来化学療法などの業務に対応できるオールラウンドな薬剤師を目指しています。そして、スタッフの知識、経験、意欲を生かせるような環境を作っていきます。

臨床の疑問の解決

充実した電子リソース

薬剤室では、薬に関する勉強会を毎月行う・総合診療科医師のカンファレンスに参加するなどの勉強する機会があります。また当院は医師の臨床研修病院（協力型）であるため、調べものをするための電子リソースが充実しています。「腎機能が悪い方の薬の量をどうするのか？」と悩んだ際“UpToDate”を参考にしたり、「造影剤のアレルギー予防の前投薬のレジメンはどのようなものがあるか？」を“医書.jp”の電子ジャーナルで検索するなど、臨床の疑問に対して客観的な根拠を自分で調べられ、成長していくことができます。

医師のカンファレンスに参加



【利用可能な電子リソース】

- UpToDate（臨床支援ツール）
- DynaMed（臨床支援ツール）
- 医書.jp（医学専門書籍・雑誌の電子配信サービス）
- 医中誌（国内医学論文情報のインターネット検索サービス）
- その他 NEJM・JAMA・Clinical Key・Medline Complete 等
 （2022年3月現在）